

スイッチ ON 磯子

令和3年～7年度

第4期磯子区地域福祉保健計画

誰もが幸せに暮らせるまちをみんなをめざす



磯子区内地域ケアプラザ（根岸、滝頭、磯子、屏風ヶ浦、新杉田、洋光台、上笹下）

横浜市磯子区役所 横浜市磯子区社会福祉協議会

「誰もが幸せに暮らせる磯子をめざして」

このたび策定いたしました「第4期磯子区地域福祉保健計画(スイッチON磯子)」では、「誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす」という基本理念を掲げ、地域の皆様をはじめ、関係団体・機関等が、それぞれの役割を発揮し、一体となって進めていくことを目指しています。

計画の策定にあたりましては、磯子区地域福祉保健計画策定・推進検討会の皆様はもとより、各地区でのワークショップや区民意見募集などを通じ、多くの区民の皆様から貴重なご意見をお寄せいただきました。ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。本計画の理念の実現を目指し、引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

磯子区長 猪俣 宏幸

「人と地域のつながりの再生に向けて」

これまで連合町内会、自治会などを中心に地域に根ざした活動を展開し、支えあいや健康づくり、災害時要援護者の対策など、様々な取組を推進してきました。

令和2年、コロナ禍で地域活動が制限されることが続きましたが、これからの5年間は、人や地域のつながりの再生に向け、第4期計画を今後の方針とし、地域の活動を進めていきたいと思えます。

そのためにも、この計画が、一人ひとりが自分の住んでいる町に興味をもち、できることをやってみようと一歩踏み出す「スイッチ」となることを期待しています。

連合町内会として、各地域の取組を支援していくとともに、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザと連携し、計画を推進していきます。

磯子区連合町内会長 三上 勇夫

「多様性を認めあい 支えあえるまちに」

私たち区社会福祉協議会は、地域福祉保健計画を中期活動計画としながら地域福祉の推進に取り組んでいます。

第4期計画では「多様性」や「つながり」などをキーワードにした3つの基本目標を掲げ、区全域計画はもとより、各地区での話し合いによって策定された地区別計画においても、この基本目標の推進に向けた取組を進めていくこととしています。

多くの方々のご意見を頂戴しながら完成したこの計画を、区民のどなたにも関わりのある計画であると身近に感じていただくとともに、地区社協や関係団体等の皆様にも今後5年間の活動の指標としてご活用いただけるよう願っております。

社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会会長 小宮山 滋

目次 | CONTENTS

1章

第4期計画策定にあたって

1. 地域福祉保健計画とは	1
2. データからみる磯子区の現状	4
3. 第3期計画から第4期計画へ	8
*コラム 新型コロナウイルス感染症による影響	12

2章

第4期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON 磯子」

1. 基本理念と基本目標	13
2. 区全域計画	15
■基本目標Ⅰ 共に支えあうお互いさまのまち	17
■基本目標Ⅱ 自分らしく健やかに暮らせるまち	23
■基本目標Ⅲ 多様性を認めあい 活動が広がり つながりのあるまち	29
3. 地区別計画	37
■9地区の地区別計画	39
*地域で活動する関係機関や各種団体の紹介	57

3章

「スイッチON 磯子」の進め方

1. 計画の推進に向けて	61
2. 計画の振り返りとスケジュール	64

4章

資料

1. 策定の経過	65
2. 用語解説	69
*地域ケアプラザの紹介	72

案内役 | GUIDE

磯子区地域福祉保健計画、案内役「梅さん」です！

4期計画もわかりやすく案内します。



<梅さんのプロフィール>

生年月日……平成18年4月1日(磯子区地域福祉保健計画の開始日)
身長……30cm
体重……3kg
好きな言葉……人情
趣味……人と集い、遊ぶこと
嫌いな言葉……ひとりぼっち
特技……みんなを笑顔で元気にすること